



# HAKUBA H.S. Report Channel

## 白馬高校レポートチャンネル

白馬  
高校

令和4年1月14日(第165号)

発行：白馬高校 教務係

TEL 0261(72)2034(代表)

ホームページも  
ご覧ください⇒



### 12月16日 台北市立建國高級中學とのオンライン交流



国際観光科2年の「Asian Language I」の授業で、台北市立建國高級中學の生徒とオンライン交流を行いました。国際観光科2年次の選択授業である「Asian Language I」では、生徒たちは中国語を学んでいます。今回は、本校生徒は中国語を、台湾の生徒は日本語をそれぞれ使って交流を行いました。

交流のテーマは生徒自身が決めたもので、日本の音楽やアニメから部活動や制服、アイドルまで、それぞれバラエティーに富んだテーマで交流しました。今流行りの若者言葉を台湾の生徒に教え、大いに盛り上がる場面もありました。

中国語を使った交流は本校生徒にとって初めての体験であったため、なかなかうまく意思疎通がとれない場面も多く、途中からは英語も交えての交流となりましたが、日本語を流暢に話す台湾の生徒たちの姿から大きな刺激を受け、自分たちのこれからの中国語学習への意気込みを新たにしました。

今回の交流は、外国語を学ぶ者同士が互いに学び合う貴重な機会となりました。この縁を大切に、今後も継続的に交流を行って、生徒の異文化への理解促進と外国語学習への意欲喚起を図っていききたいと思います。



# 12月17日 白馬フォーラム



生徒の学びの報告会である『白馬フォーラム』をウイング21を会場に2年ぶりに開催しました。当日は本校生徒に加えて、文部科学省の「地域との協働による高校教育改革推進事業」アソシエイト校である新潟県立糸魚川高等学校の1年生と先生方120人にもご参加いただきました。生徒の発表では、本校から8組のべ28人、糸魚川高校から1組3人が探究的な学びの実践報告を行いました。



生徒の発表内容には、プロジェクト学習部による、白馬村のおいしい水に親んでもらいペットボトル削減につなげようという「ウォーターサーバー・プロジェクト」や、本校生徒が主催した白馬村を元気にするイベント「岩岳SKYフェス」をはじめ、地域との交流や協力を意識した発表がたくさんありました。

視察に来てくださった軽井沢高校の先生方のほか、白馬村内外からのゲストの方々にもコメントをお願いして、発表した生徒たちに多くの励ましと助言をいただきました。ご協力いただいた皆さんのおかげで、実りある発表の場となりました。



## 12月17日 糸魚川高校との交流学習



白馬フォーラムに続き、午後からは本校1年生が糸魚川高校1年生と交流学習を行いました。

交流学習は、1グループ10人で、7つの教室に分かれて行われました。生徒たちは初対面ということもあり、初めは緊張した面持ちでしたが、アイスブレイクを通して次第に和やかな雰囲気になりました。

グループワークでは、ブレインストーミングとKJ法を用いて互いの地域の魅力や課題を出し合って整理し、そこから「何ができるか」を考えました。最後に、7つの教室をZOOMでつなぎ、それぞれの会場から成果を報告し合って、まとめと振り返りを行いました。

異なる地域に住む同年代の生徒同士の交流を通して、白馬と糸魚川が抱える共通の課題と自分たち独自の解決策を見つけることができました。今後もこうした交流を通して学びを深めていきたいと思えます。

